

経営比較分析表（令和5年度決算）

愛知県 小牧市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.84	0.88	78.00	1,581

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
149,715	62.81	2,383.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,318	0.37	3,562.16

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

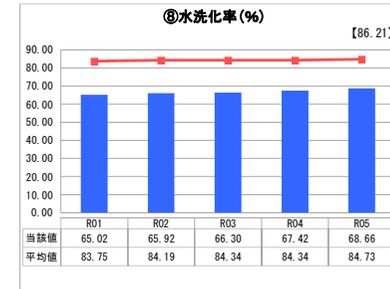
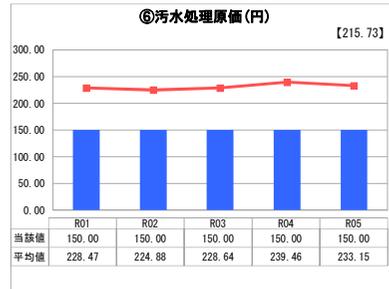
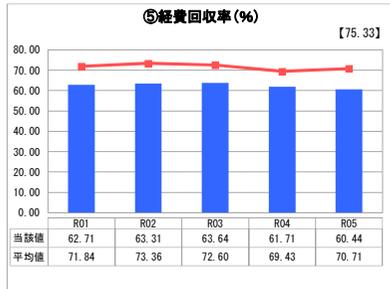
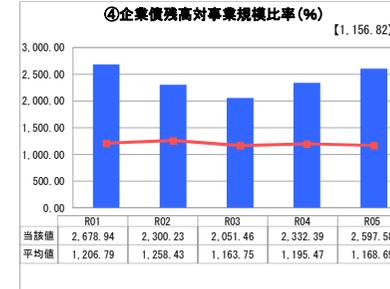
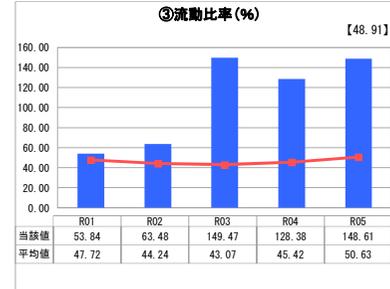
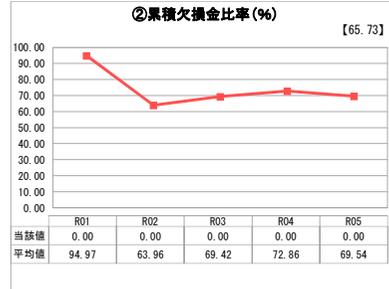
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%に近い数値で推移しているのに対して、⑤経費回収率は類似団体より平均値を下回っている。これらは、本市が一般会計より基準外繰入金を受けていることが主な要因である。
 ③流動比率は令和4年度と比べて上昇している。これは前払金の増が主な要因である。
 ④企業債務高対事業規模比率は類似団体平均値を上回っている。主な要因としては、新規地区の整備を継続的に施工しており、新規企業債務が増加しているためである。
 ⑥汚水処理原価が類似団体平均値を下回っているのは、公共下水道事業と同様に本市が県の流域下水道に接続しており、汚水処理施設を持っていないことが主な要因である。
 ⑦施設利用率が類似団体平均値を下回っているのは、事業着手後経過年数が少ないことが主な要因である。よって、より一層の下水道接続のPR活動などの普及促進が求められる。

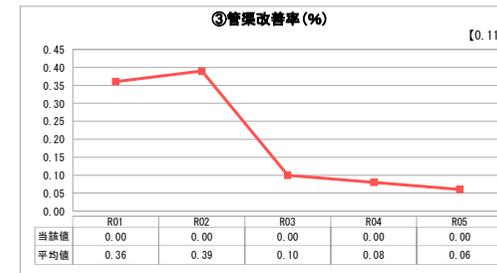
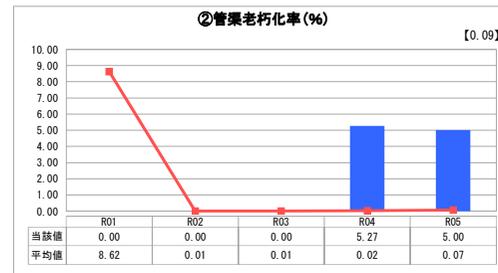
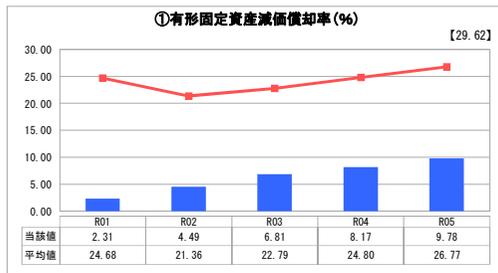
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は令和4年度に比べて上昇している。これは管渠など資産の減価償却が進んだことが主な要因である。
 ②管渠老朽化率は令和4年度に比べて下降している。これは法定耐用年数を超えた管渠が出てきているが、新規敷設延長による総延長の増加が要因である。
 ③管渠改善率は類似団体平均値を下回っている。これは法定耐用年数50年を超えた管渠が少なく、現在は管渠の破損に対して随時修繕・補修を行うことで対応可能であることが主な要因である。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。